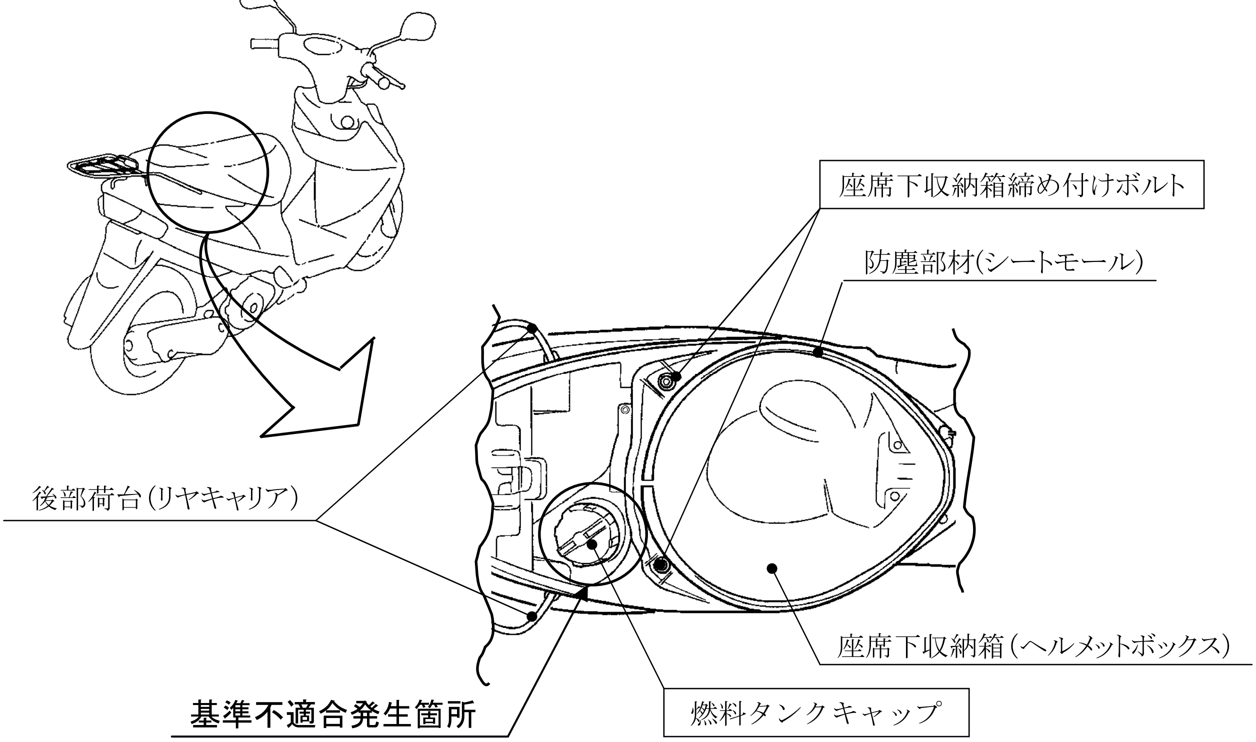
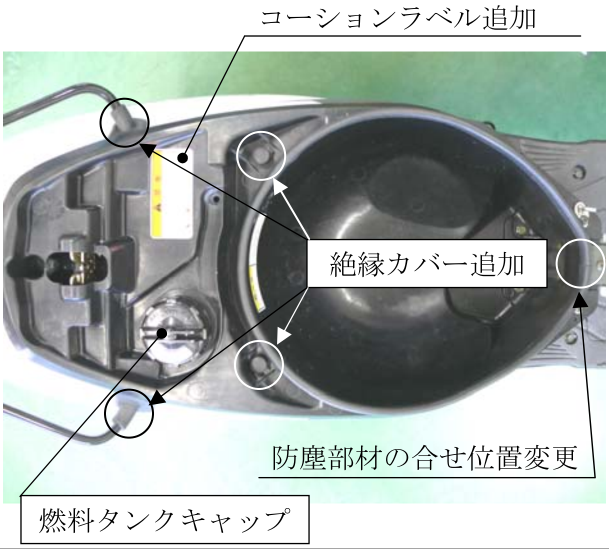
改善箇所説明図



燃料タンクキャップと給油口の寸法が不適切なため、燃料により給油口が膨潤することで燃料タンクキャップの締め付けが重くなるものがあり、適切に締め付けられなくなるものがある。そのため、そのまま使用を続けると給油口から燃料が漏れ、最悪の場合、静電気等により引火し、火災に至るおそれがある。

改善内容

全車両、燃料タンクキャップを対策品に交換する。また、静電気対策として、座席下収納箱の締め付けボルトを対策品に交換し、そのボルトと後部荷台に絶縁カバーを追加し、コーションラベルを貼付するとともに、座席下収納箱の防塵部材の合せ位置を後側から前側へ変更する。

改善前	改善後
	

注：[　　] は交換部品を示す。

識別：容易に判別できるため、識別マークは設けない。